

小学校中・高学年向け 年 組

宇都宮市ギョーザ2位

25年家計調査、宮崎市抜く

総務省の2025年家計調査の結果が6日公表され、宇都宮市の年間ギョーザ購入額は1世帯（2人以上）当たり3575円で、浜松市の4046円に次ぐ全国2位だった。宇都宮市は前回より774円増え、前回2位の宮崎市を抜いて順位を一つ上げた。ただ市民には購入額の対象外となる専門店からの持ち帰りも多く、「宇都宮のギョーザ文化を反映していない」と指摘する声が高まりつつある。

ギョーザ年間購入額の上位5市

| | 2025年 | 24年 | 23年 |
|---------|-------|-------------|------------|
| ① 浜松市 | 4,046 | 浜松市 4,066 | 浜松市 4,041 |
| ② 宇都宮市 | 3,575 | 宮崎市 3,517 | 宮崎市 3,498 |
| ③ 宮崎市 | 3,418 | 宇都宮市 2,801 | 宇都宮市 3,199 |
| ④ さいたま市 | 2,555 | さいたま市 2,393 | 京都市 2,661 |
| ⑤ 大津市 | 2,531 | 福岡市 2,383 | 奈良市 2,440 |

※金額は円、1世帯(2人以上)の年間購入額。総務省家計調査(年次)による

「家計消費額の順位に一喜一憂しない」。今回の結果を受け、佐藤栄一市長はコメントした。代わって強調したのが「餃子ワンダーランド」。ギョーザ目的の来訪者が年約1千万人に上り、宇都宮餃子祭りには2日間で累計16万人が集まることなどから「来訪者が

多種多様なギョーザを目当てにまちを回遊している」と独自路線をアピールした。

都道府県庁所在地と政令市で無作為抽出した世帯を対象にした家計調査で、飲食店内での飲食、テイクアウトは対象外とされ、冷凍ギョーザは「冷凍調理食品」に分類される。

市内には宇都宮餃子会加盟のギョーザ店だけで約90店舗あり、飲食やテイクアウト、専門店でも冷凍ギョーザを購入することが多い市民のライフスタイルは反映されにくい。1月にはセブーンイレブンで、同会監修の冷凍ギョーザが発売された。だが、これも冷凍調理食品の扱いだ。同会の鈴木章弘専務理事（兼事務局長53）も結果を冷静に受け止め、浜松市と宮崎市に対し「ギョーザを愛する仲間として、地方から盛り上げよう」とエールを送った。

2026年2月7日付・下野新聞2面

設 問

この新聞記事を読んだ宮子さんと宇太郎さんが話し合っています。空欄に当てはまる言葉や数字を記事の中から探して書きましょう。

昨年、1世帯が1年間でギョーザを買った金額が、宇都宮市は①円で全国2位になったそうなんですけど、わたしはちょっと納得できないな。

昨年より②円も増えて、ライバルの③市に勝ったのだから、すごいことじゃないの？

そうかなあ。この調査は、お店で食べたり、お店から④したりする金額はふくまれないそうだよ。宇都宮市にはギョーザ専門店も多いから、その金額もふくめたら、1位になれるかもしれないじゃない。

たしかに。この調査には、⑤のギョーザもふくまれていないようだね。ぼくはきのう、スーパーで買った⑤のギョーザを食べたよ。

でも、市長さんは、「順位に一喜一憂しない」とコメントして、「餃子ワンダーランド」をアピールしているね。

そうだね。ギョーザを目的に宇都宮市に来る人が、1年間で⑥人もいるなんて、びっくりするよ。そういえば、大きな荷物を持った人がギョーザ専門店の前に並んでいるのを見かけたことがあるよ。

⑦会の事務局長さんも、⑧市と宮崎市に対して、「ギョーザを愛する仲間として、地方から盛り上げよう」とエールを送っているね。わたしも順位にはこだわらず、これからも大好きな宇都宮市のギョーザを楽しく味わっていくことにしよう。